

歳出

(町の支出)

質疑

総務費

集落支援員の内容は

議員 集落対策としての集落支援員制度について、その留意点や内容を伺います。

当局 集落機能の低下や地域コミュニティの希薄化といった課題に対し、集落支援のあり方を検討していくものです。今年度は集落機能が特に低下している地域に対して、歴史的な事柄も含めて事例調査や支援員の配置を試験的に行っています。

議員 集落支援員の内容は交通弱者の救済面では重要です。民業との競合と連携にどのように対応していくのか伺います。また、今年度からの改善点を伺います。

当局 利便性の向上と民業との関係については、利用者と交通事業者で地域公共交通会議を設け、そのなか

での課題協議や互いの同意のもとですすめています。改善点は、6月から料金について全町エリアで500円、障害者の方は半額、11回で5千円回数券の発行を予定しています。また、便数は2便を増やして1日9便、予約は休日も含めて前日まで、午後の便は当日の9時から11時までに改める考えでいます。

民生費

医療費補助の償還払いは

議員 白鷹元気っ子事業では中学生までの医療費を無料にしますが、償還払いにしている理由を伺います。

当局 自己負担分を窓口で支払った後に、その領収書から償還しますが、保険適用分だけが対象になること、そのなかには県の補助なども含まれていること、他市町の医療機関を受診する人もいることなどによって、処理が煩雑になり一律にはいかないからです。なお、

償還手続きは一年間のゆうよがありますので、複数回分をまとめての手続きも可能としています。

議員 社会福祉協議会の会費は税外負担という面における社会福祉協議会の会費はどのように考えているか伺います。

当局 あくまでも任意であるというものを納入依頼書に追加し、関係する諸会議で説明していきます。

児童手当と子ども手当の関係は

議員 児童措置費の各手当について、その対象者などの説明をいただきたい。また、子ども手当支給についての流れを伺います。

当局 児童手当は2月から5月分までを6月に支給されます。今年度から子ども手当が支給されますが4月と5月分が6月支給となります。児童手当が今年度も

残るということで予算については対象者や国県の補助など要件別に立てる必要があります。全支給額は2億5千万円ほどになりますが、町で負担するのは2億600万円ほどになります。個々に最初申請をしていただいて、6月、10月、2月の3回支給となります。

残るということで予算については対象者や国県の補助など要件別に立てる必要があります。全支給額は2億5千万円ほどになりますが、町で負担するのは2億600万円ほどになります。個々に最初申請をしていただいて、6月、10月、2月の3回支給となります。

平成22年度一般会計支出予算額一覧

歳出(町の支出)	予算額
議会費	8,798万円
総務費	8億2,424万円
民生費	17億9,712万円
衛生費	5億1,249万円
農林水産業費	3億3,591万円
商工費	2億160万円
土木費	7億5,683万円
教育費	6億850万円
公債費(借入金の返済)	13億1,489万円
その他	3億9,844万円
合計	68億3,800万円

※万円未満は端数を整理しています。

